

## ★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

## ★「幼児のためのおはなし会」

○日時：11月7日（火）11:00～11:20 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○対象：幼児 ○定員：10組程度  
《10月のおはなし会で使った本》

『わんわんハロウィーン』 高林麻里/作 講談社 2022.8

『おめんです2』 いしかわこうじ/作・絵 偕成社 2014.10

『やさいのおなか』 きうちかつ/さく・え 福音館書店 1997.1

『やさいさん』 tupera tupera/さく 学研プラス 2010.7

## ★「第2回学校図書館セミナー」

○日時：令和5年11月9日（木）14:00～16:00（受付13:30～） ○会場：山口県立山口図書館 3階 第2研修室

○講師：講師 青山学院大学 教育学部 准教授 庭井 史絵 氏

○内容：【講義】「『読むこと』の多様性とその支援」

○対象：県内の教諭、司書教諭、学校司書、学校図書館担当事務職員、教育委員会指導主事等

○定員：会場40名（要申込み・先着順） ○申込方法：HP上の参加申込書によりFAX、またはEメール。

○参加費：無料

## ★「第2回子どもと本をつなぐスキルアップ講座」

○日時：令和5年12月9日（土）13:30～15:30（受付13:00～）

○会場：山口県立山口図書館 3階 第2研修室

○講師：講師 元山口市立小郡図書館館長 長谷川 雅美 氏

○内容：【講義】「紙芝居基礎講座 - 選び方、演じ方のポイント -」

○対象：県内の子ども読書ボランティア、公共図書館職員、司書教諭、学校司書、保育士、幼稚園教諭、保育教諭等

○定員：会場36名（要申込み・先着順）

○申込方法：HP上の参加申込書によりFAX、Eメール、または郵送、持参で申し込み。

○申込締切：令和5年12月1日（金）17時（定員になり次第締め切り） ○参加費：無料

◎申込み・連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2113 FAX:083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

## 【新刊紹介】価格は消費税抜き

## &lt;絵本-乳幼児から&gt;

『ピーちゃんとナッツくん』 はらしまみ/作・絵 ポプラ社 2023.9 ¥1300

ぴったんこでピーナッツ！しかけのページをめくると、からつきピーナッツのピーちゃんとナッツくんがからだのあちこちをくつつけるよ。おなかとおなかでぼんぼん、おててをあわせてぼんぼん、おしりとおしりで…？思わず声に出したくなるオノマトペが満載。しかけの前後で変わるふたりの表情も魅力的なスキンシップ絵本。『とうもろこしぬぐぞう』でデビューした作者の第2作。

## &lt;絵本-3, 4歳から&gt;

『どんぐり』 たてのひろし/さく 小峰書店 2023.9 ¥1800

木から落ちたどんぐりを小動物や虫たちが食べる。残ったどんぐりから芽が出て、今度はその葉っぱを食べる生きものがくる。森の営みは循環していき…。落ちたどんぐりのその後を、観察に基づいて淡々と写し取った文字なし絵本。図鑑の標本画なども手がけてきた作者による緻密な鉛筆画をベースに、どんぐりや葉っぱといった一部のみを彩色する手法が、生命をより鮮やかに見せる。

## &lt;絵本-5, 6歳から&gt;

『ねずみ3きょうだいおつかいロボだいさくせん』 こすぎさなえ/作 出口かずみ/絵 教育画劇 2023.8 ¥1200

ものづくりがとくいなティム、プログラミングにむちゅうなビット、くいしんぼうのマックスは、まちはずれにすむねずみ3きょうだい。まちにいるのらねこのブッチーたちにつかまらないようにかいものをするため、3びきはおつかいロボをつくることに。たのんだものをちゃんとかってきてくれるかな？ピンチを乗り越えるユニークなアイデアが楽しい。続きを想像したくなる絵本。

## &lt;絵本-小学校低学年から&gt;

『ティーカップ』 レベッカ・ヤング/文 マット・オットリー/絵 さくまゆみこ/訳 化学同人 2023.9 ¥2000

ふるさとでくらすなくなった男の子は、あらたな居場所をさがして海へ船出した。もちものはカバンと、ふるさとの土がはいったティーカップひとつ。なかなか陸地が見えず、なににつけてもふるさとを思う日々をすごすうちに、男の子はカップのなかでなにかがめばえていることに気づき…。移民となった少年の心象風景を描き出す絵本。原書は2018年にIBBYの優良図書に選出。

『くるくるまわる回文ニュース』 あべ弘士/文・絵 せとちとせ/回文 創元社 2023.9 ¥1400

アナウンサーの「子猫ねこ」と解説の「絹田狸」が送る、回文だらけのニュース番組。迷子になったゾウの子の話題では「この子どもの子？」天気予報では「雲くもりもくもく」CMやエンディング曲だってもちろん回文。登場する動物たちの、個性豊かで愛嬌のあるやりとりも見どころなユーモア絵本。MBS毎日放送のアナウンサー9人による朗読動画を視聴できる二次元コードつき。

<読み物—小学校低学年から>

『赤いめんどり』 アリソン・アトリー/作 青木由紀子/訳 山内ふじ江/絵 福音館書店 2023.9 ¥1400

ひとりぼっちで貧しいおばあさんの家にやせ細った赤いめんどりがやってきた。赤いめんどりはおばあさんのために家事をこなしたり卵を産んだりして暮らしは豊かになってくる。あとはめんどりが言葉をしゃべりまぼと望むおばあさん。しかし、めんどりの元の持ち主という男が現れて…。おばあさんと赤いめんどりとの強いきずなを心を動かされる物語。作者は高名な英国児童文学者。

<読み物—小学校中学年から>

『時間をやくパン屋さん』 キム・ジュヒョン/作 吉原育子/訳 スケラッコ/絵 金の星社 2023.7 ¥1400

自分が覚えておきたい時間の味とかおりと触感をパンにして焼く不思議なパン屋に遭遇した10歳の男の子ピーター。店頭で並ぶパンは「ピリはさよならダックワーズ」「しびれる初ゴールのドーナツ」と変わった名前。ある事後悔するピーターが注文したのは真心のパン。周りの人達と誠意をもって向き合うことや、将来への夢を持ち続けることの大切さに気付く少年の成長物語。

<読み物—小学校高学年から>

『アンナの戦争』 ヘレン・ピーターズ/作 尾崎愛子/訳 偕成社 2023.9 ¥1700

ドイツで暮らすユダヤ人の12歳の少女アンナ。ある夜、ナチの親衛隊から襲撃を受け、両親はアンナを他国へ避難させることを決意する。第2次世界大戦中、イギリスの救援団体が行ったユダヤ人の子どもを列車と船でイギリスに送る大作戦「キンダートランスポート（子どもの輸送）」を描く。不遇な環境の中、自らに関わる人々の善意を支えに勇気をもって懸命に生きる少女の物語。

『スクール・フォー・グッド・アンド・イービル』 ソマン・チャイナニ/著 金原瑞人・小林みき/訳 すばる舎 2023.9 ¥2000

プリンセスを夢見る少女ソフィと変わり者で人嫌いな少女アガサ。二人は4年に一度おとぎ話の登場人物を養成する(善と悪の学校)に連れ去られる。それぞれの幸せな結末を目指してすれ違い、ぶつかりあいながら奮闘する。個性豊かな登場人物が織りなす壮大なファンタジー。作者はアメリカの作家で脚本家。本作がデビュー作でベストセラーとなり、六大陸、33言語で翻訳される。

<読み物—中学生から>

『わたしの心のきらめき』 シャロン・M.ドレイパー/作 横山和江/訳 鈴木出版 2023.7 ¥1600

メロディは脳性麻痺の少女でもうすぐ12歳。生まれたときから日常生活に介助が必要で、会話補助装置を使っているが、好奇心旺盛で高い記憶力を持ち、図書館が大好き。自分が見つけたサマーキャンプに参加することに。初めて家族と離れて過ごす、学校と家庭以外の場所には、これまでこない出会いが待っていて…。2014年刊行の『わたしの心のなか』の1年後を描く続編。

『夜空にひらく』 いたうみく/著 アリス館 2023.8 ¥1600

祖母と二人暮らしだった鳴海円人はバイト先でのトラブルがもとで暴力事件を起こし、試験観察処分に。弁護士の岩切に連れられてたどり着いた補導委託先は、煙火店を営む深見の家。深見の家族や店の職人たちと関わるうちに、円人の心には変化が。18歳になり、岩切に自分の進退を決められると言われ、花火師としてこのまま働きたいという思いを伝えたが…。家族の再生の物語。

<ノンフィクション—小学校低学年から>

『その絵ときたら!』 ミシェル・マーケル/文 バーバラ・マクリントック/絵 福本友美子/訳 ほるぷ出版 2023.9 ¥2400

米国で毎年その年に出版されたもっともすぐれた絵本の画家に贈られるコールデコット賞。この賞のもととなった19世紀絵本の巨匠ランドルフ・コールデコットの生涯を描いた伝記絵本。ランドルフがペンとインクで描き出す生き生きとした絵は、新しい絵本の時代を作り、後の作家たちにも大きな影響を与えている。本書に掲載されるランドルフ自身が描いた絵の索引あり。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『ヨシちゃんの沖縄戦』 中地フキコ/文と絵 かもがわ出版 2023.8 ¥1600

沖縄で暮らしていた13歳のヨシ子。1945年4月になると米軍からの爆撃が激しくなり被弾した父が亡くなる。上陸するアメリカ兵から逃れるため残された家族と島の南へ向かうが捕虜収容所にたどり着いたのはヨシ子のみ。松村ヨシ子さんの壮絶な体験をもとにした物語絵本。作者は元小学校教諭で戦争体験者への取材をもとに絵本等を作り平和の大切さを伝える活動を行っている。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『ルールを守って楽しもう!まんがで学ぶオンラインゲーム』 日本オンラインゲーム協会カスタマーサポート・ワーキンググループ/監修 保育社 2023.8 ¥3000

令和4年度の内閣府の調査によると、小・中学生の8割がプレイしているというオンラインゲーム。オンラインゲームの仕組みや課金方法などの基本的な知識、プレイする時のルールやマナー、子どもが起こしたり巻き込まれたりするトラブル、ゲーム障害などの弊害について、漫画やイラストで分かりやすく解説する。親子でオンラインゲームについて学べる1冊。巻末に用語集あり。

<ノンフィクション—中学生から>

『中学校の授業でネット中傷を考えた 指先ひとつで加害者にならないために』 宇多川はるか/著 講談社 2023.7 ¥1400

私立開成中学校が国語の授業でネット中傷を初めて取り上げたのは2012年。その当時よりも中高生にとってSNSは身近なものとなり、SNS上の誹謗中傷が原因で命を絶つ人が後を絶たない。著者は2021年に開成中で実施された全6回の授業を参観。授業での詳細なやりとりからは、簡単に加害者になってしまう心理や「正義」という言葉の危うさが伝わってくる。

<研究書>

『絵本作家降矢なな』 降矢なな/[画] 共同文化社 2023.6 ¥2500

『めっきらもっきらどおんどん』、『ともだちや』シリーズなどで有名な絵本作家降矢なな。本書は展覧会「降矢なな原画展」の公式図録で、多数の代表作を収録。解説は英文が併記されており、掲載作品には、作者や出版社等の情報に加えて各絵本の掲載ページを記載。校了前の絵の差し替えの解説や、アナログ版下での4色分版の技術は必見。略年譜、作品リストも掲載。

<外国語絵本>

『怪傑佐羅力之勇戦噴火龍』 原裕/著 厲河/訳 中国出版トーチン 2023.10 ¥2400

原ゆたかの大人気シリーズ『かいけつゾロリ』の中国語訳。第1巻は『かいけつゾロリのドラゴンたいじ』。表紙や挿絵、見返し、カラーページなど、原書の雰囲気そのままに、手書き文字まで全て簡体字(中国語)に変換。本文や吹き出しなどの活字部分には、ピンイン(中国語の発音表記法)の読みもついており、中国語の学習にも活用できる。第1期として全5冊が刊行。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。取書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary>

